

広報とめ  
トゥー・ミー

# To Me

3  
令和四年  
Mar 2022  
Vol.322

登米市成人



【ときめき人】

熊谷秀さん

【主な記事】

火災予防は家庭から

【今月の表紙】

登米市成人式

(関連記事2ページから)

Proud!

被災地の復興を支援しよう

Japan



1 3 色鮮やかな晴れ着に身を包んだ出席者たち  
 2 「誓いの言葉」を述べる代表者  
 4 出席者は感染対策の一つとして入場券に連絡先を記入  
 5 7 旧友との再会を喜び合う様子は会場の至る所で見られた  
 6 着付けボランティアの皆さんのお直し  
 8 入場者が分散するよう町域別に受け付け  
 9 思いの品々を手にとる過去の自分と対面



令和4年成人式  
 誰かの支えとなり  
 助けられる社会人に  
 阿部 喜樹さん  
 津山町入沢



令和3年成人式  
 向上心を忘れず行動  
 感謝を伝えたい  
 久須田 桃子さん  
 米山町貝待井

# 成人の主張

成人式出席者を代表し2人の「成人の主張」(要約)を紹介します

中学校を卒業してまだ5年という短い時間ではありますが、それぞれ道が違いますが、同級生たちの過ごしてきた時間を肌で感じることで、うれしく思います。

今日という日を迎える中で、この20年間、たくさんの人たちに支えられてきました。部活動で支えてくれた仲間や、心地よい時間を共有できる友人とその家族。私の良いところだけではなく、短所も含めて、全てを受け止めてくれ、愛してくれた家族のおかげでここまで成長することができました。

私は登米市の職員として市民の皆さんのために仕事に取り組んでいます。より丁寧で分かりやすい説明を心掛けながら、一日でも早くもっと地域に貢献できる職員になることを目標に励んでいます。先輩方に少しでも追いつけるように努力していきたいと思っています。

最後になりますが今まで自分を支えてくれた家族、友人、先生方、地域のみなさんに感謝し、私も誰かの支えとなり助けたいという努力を社会人になれるよう努力することを誓います。

これまでの20年間、常に周りには私を支えてくれる人がいました。部活動でも、もに頑張ってくれた仲間たち、いつも私を笑わせてくれた友人たち、親身に相談に乗ってくれた先生など、お世話になった人が数え切れないほどいます。

今は、大学で英語や異文化、「コミュニケーション」を学んでいます。外国人の先生の授業や留学生との交流を通して、考え方の違いを受け入れることで相手を理解できることに気がきました。また、幼い頃からの夢

であったテーマパークでのアルバイトにも従事しており、そこでもさまざまな年代、性別、国籍、思想の人と多く接します。動く中で、自分にとっての「当たり前」が他の人にとってはそうではない可能性があることに気がきました。「多様性」という言葉が大切にされるようになってきた今、周囲の人とお互いに尊重し合い、生活したいです。

今後、向上心を忘れず行動し、成長した姿を見せることで、感謝の気持ちを伝えていきます。

## 【特集】令和3年 登米市成人式 令和4年 登米市成人式 ～感謝の気持ちを胸に～

暮らしの中にさまざまな制限がある中で節目を迎えた新成人。不安と希望を胸に大人の世界に飛び込みました。

20歳の門出を祝うかのように広がった青空の下、凜とした空気に包まれ、延期していた「令和3年登米市成人式」が1月8日、「令和4年登米市成人式」が9日、登米総合体育館で開かれました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、両日も午前と午後2部制とし、家族の入場も制限を設けました。令和3年成人式対象者は811人で令和4年対象者は804人でした。

会場は、スーツやはかま、色鮮やかな晴れ着に身を包んだ出席者たちで華やかな雰囲気。旧友との再会を喜び合い、近況を報告したり、記念写真を撮影したりする姿が至る所で見られました。

式典では熊谷盛廣市長が「本当に自分のやりたいことは何かを見つければ、それに向かって進んでください。これからどう生きるのかを自分自身に問いかけ、今日の決意をしっかりと胸に刻み、勇気を持って大人の世界へ飛び込んでください」と式辞を述べました。

各式典では新成人の代表が「この地域がさらに魅力のあるまちになるよう貢献したい。成人として新たなステージへの門出を迎えた今、大人としての自覚と責任を持ち、夢や目標に向かってより一層努力していくことを誓います」などと誓いの言葉を述べ、決意を新たにしました。

# 【特集】令和3年 令和4年 登米市成人式

～感謝の気持ちを胸に～



## 登米市で育った誇りを胸に

成人式を迎えた皆さんおめでとうございます。特に令和3年成人式対象者の皆さんは、式典が本当に開催されるのか不安の一年を過ごしたことと思います。その思いに応えるためにも、何とか成人式を挙行したい。どのような対策が必要で、どうすれば開催することができるのか何度も協議を重ねました。

式典は例年と異なる二部制での開催とし、多くの人が一カ所に留まることがないように誘導にも工夫するなどさまざまな感染対策に取り組みました。いろいろな制限の中での開催でしたが、久しぶりに会って近況報告や昔話に花を咲かせる皆さんの

マスク越しでも分かる程の笑顔を見て、心から開催することができてよかったと感じました。幸い、成人式を通じた感染はなく、適切な対策をすることができたものと捉えています。

成人式の企画、運営に協力してくれた実行委員の皆さん。特に令和3年の委員は二年の間協力いただきました。感染対策のため中止した企画があったことは残念ですが、委員皆さんの協力を頼もしく感じていました。

大人としての一步を踏み出した皆さん。自分は登米市で育ったんだという誇りを持って大きな世界に翼を広げてほしいと思います。



教育委員会教育部生涯学習課長

山形 敦

※令和5年以降の成人式の対象者はこれまでどおり20歳です

## 成人式を迎えた皆さんへメッセージ

人とのつながりを大切に



着付けボランティアの「花すみれ」の皆さん  
今野 裕美さん(中)

長年参加しているの、着物や髪型などではやりの変化が目につきます。今年は髪に水引を付けていたり着物姿にブーツを履いていたりする人がいて感心しました。

以前は会場に一升瓶を持ち込むような人がいましたが、最近では行儀の良い人たちばかりです。式典中の態度や会話の中から礼儀正しさを感じ取っています。そんな皆さんだから、さまざまなことが制限されることにも我慢できるだろうと思います。

こんな時だからこそ、人とのつながりを大切にしてください。これからのいろいろな苦勞に出会ふと思いますが、人とのつながりがあれば困難も乗り越えていけるはずです。

笑って話せる思い出に

司会として兩日の式典に携わりました。新成人の元気で初々しい姿を何年か見ていますが、成人式が延期となった皆さんがとて大人びていることに驚かされました。

いろいろな我慢が多い世代だといわれていますが、思い通りにならないことがあっても投げやりにならないでください。将来、自分たちの成人式はこうだったんだよと笑って話せるような大人になってくれるよう願っています。

また、今年は式典が4回ありました。人生の節目である成人式。なんとか門出を祝いたい、苦勞しながら運営する主催の姿をすぐそばで見たいました。成人式に携わる人たちの苦勞。それがあつたから成人式を開催することができたことにも感謝して社会へと羽ばたいてください。

登米コミュニティエフエム  
佐藤 万里子さん



新たな船出  
それぞれの航路へ舵を

人は船に例えられることがあります。大きな船や小さな船。いかだやささ舟。一口に船と言ってもさまざまな種類、用途があります。皆さんは自分という船をどのように考えるでしょうか。

船は港にいれば安全ですが、それだけでは船としての役目を果たせません。荒れる海原に帆を進めなければならぬときもあります。私たちの人生も同じで、今まで守ってくれていた家族や友人から離れ、社会という海原に向っていかねばなりません。他の船と接触したり暗礁に乗り上げたりと、これまで経験したことのない、想像もしていなかったような苦勞が待っているかもしれません。これから出航する人だけでなく、航海が始まっている人もいると思います。航海が困難なほど達成したときに得るものは大きく、自分の中で大切な宝物になるはずです。

失敗や挫折を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてください。私たち先輩が、灯台となつて皆さんの航路を照らしていきたいと思ひます。

# 備えあれば憂いなし

## 火災予防は家庭から

春を迎えるこの時期は、他の時期に比べて火災が多く発生します。火災は、私たちから大切なものを一瞬で奪い去ります。今号では、市内の火災の状況や家庭での火災予防について紹介します。



### 冬季に増える火災 3月に一番多く発生

地震・雷・火事・親父、人それぞれ怖いものは違っても、昔から火災は恐ろしいものの一つに数えられています。市内の火災の主な原因は、農地などの火入れやたき火、たばこ、ストーブ、電気器具などの配線からの出火です。火災発生件数の過去10年間の推移は、2017年は多かったものの、おおむね減少の傾向で、20年が最も火災が少ない年でした。しかし、翌21年は大幅に増加。一層の火災予防が求められます。

### 3月1日から7日は 全国火災予防運動週間

冬季は厳しい寒さにより暖

房器具など火の取り扱いが増えることに加えて、空気が乾燥するため火災の発生が多い季節です。特に3月は屋外での火の取り扱いが増えるため、一年で最も火災が発生する時期です。はじめは小さくてもあつという間に燃え広がる火災。この時期の火災を減らすだけでなく、一年を通して安全に過ごすためには家庭での火災予防が大切です。

市では、火災の怖さや火災予防について子どもたちから学ぶことができるように、園児や児童、生徒への防災教室を開催しています。また、自主防災組織と連携した防災訓練や講話を実施するなど、各地域で火災予防の意識が高まるよう取り組んでいます。

火災は、基本的な防火対策で防ぐことが出来ます。火のそばに燃えやすいものを置かない、火から離れるときは消すなど、日頃から防火を意識し、大切な命と財産を守りま

## 住宅用防災機器で火災に備える

### 住宅用火災警報器

全ての住宅で設置する必要があります。日頃からボタンを押す、ひもを引くなどの動作確認をお願いします。

警報器は、古くなると電子部品の故障や電池切れなどにより火災を感知しなくなることがあります。設置から10年を目安に交換するようにお願いします。



### 消火器

初期の消火に効果的で、被害を抑えることができます。小型の住宅用消火器や軽量なエアゾールタイプもあります。

住宅用消火器の使用年数は、約5年です。使用期限を過ぎた消火器は、破裂による人身事故の危険があります。放置せず新しいものに交換しましょう。



## 市内の主な出火原因と対策

### 【農地や山林などへの火入れ、たき火】

風にあおられて周囲に燃え広がる可能性があります。風が強い日は作業をせず、火のそばを離れるときは消火用具などでしっかり消火してください。

### 【たばこ】

布団や座布団へ火種が落下することによる着火の他、火が消えていない殻が数時間後に発火することがあります。ポイ捨てや寝たばこをしないようにし、灰皿などに吸殻をためないよう注意してください。

### 【電気器具などの配線】

漏電やショート、発熱などが火災につながります。家具などの下敷きや折れ曲がりに注意してください。プラグやコンセントは清掃し、不要なプラグは抜くようお願いします。

### 【ストーブ】

近くにある可燃物が原因で火災になることがあります。ストーブの近くに洗濯物を干さない。外出や就寝時などはスイッチの切り忘れに注意するようお願いします。

しょう。

### 早く発見しすぐに消す 消火が無理な時は逃げる

全国では、逃げ遅れなどによる高齢者の死亡事故が増加しています。死傷者を出さないためには、早期発見と初期消火が大切です。住宅用火災警報器を設置することで早く火災に気付くことができ、火が大きくなる前に消火器などで消すことにより被害を最小限に留めることができます。火が周囲に燃え広がった場合は、無理に消火しようとしなくて、119番通報するようお願いいたします。



消防本部予防課 高嶋 和義 課長補佐

### 防火への意識を持ち 必要な設備をしっかり設置

火災は起こさないのが一番ですが、万が一発生してしまった場合は早期に発見することが被害を抑えることにつながります。

火災警報器は寝室、台所、階段などへの設置が義務付けられていますが、2021年の調査では市内で適正に設置されている住宅は58%に留まっています。

火災の逃げ遅れは、多くの場合が炎に巻かれて逃げられなくなるのではなく、煙の一酸化炭素中毒などにより体が動かなくなることで発生しています。火災警報器は、煙や熱を感知して音声やブザー音で火災の発生を知らせます。就寝中などでも火災に気付くことができるため、速やかな通報や消火、避難につながります。

死傷者を出さないため、また被害を最小限に抑えるために、住宅用火災警報器を適正に設置するようお願いします。

### ■通報要領(例)

市消防	通報者
火事ですか、救急ですか	火事です
消防車が向かう住所を教えてください	登米市〇〇町〇〇番地です
何が(どこが)燃えていますか	茶の間のストーブが燃えています (何が燃えているかなど具体的に伝えてください)
けが人や逃げ遅れた人はいますか	けが人はいません。 家族は全員避難しました。
分かりました、消防隊が向かいます	

## 子どものころからの火災予防の取り組み

### 幼年消防クラブのつどい



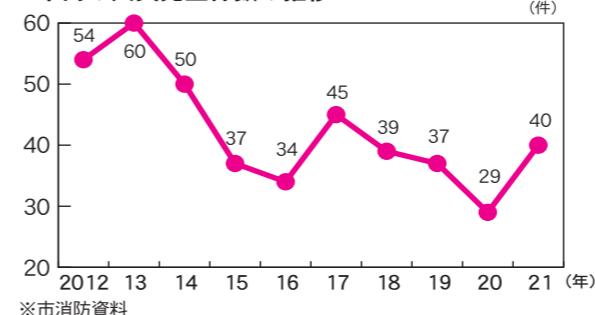
幼年消防クラブを結成している園(所)では、放水体験や消防車への乗車体験などを通して火災予防を学んでいます。子どもたちは、拍子木を叩きながら「マッチやライターで火遊びしません」と防火を誓います。

### 少年消防クラブの火災予防運動

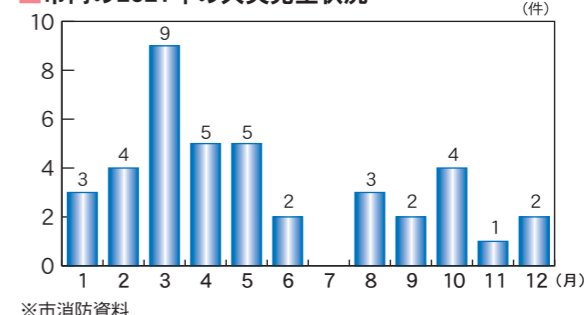


東和中学校では、昨年秋の火災予防運動時に、生徒会執行部と応援委員の生徒を中心に火災予防に関する活動を実施。暖房器具の取り扱いなどが増える時期を迎え、火の取り扱いへの注意を生徒などに呼び掛けました。

### ■市内の火災発生件数の推移



### ■市内の2021年の火災発生状況



第21回全国中学生「防火防災に関する」作文コンクール応募作品(原文のまま)

## —— 命を守る地域の消防団 ——

地域で消防団の分団長を務めていた祖父は六十六歳だ。消防団を退団して、最近では、よく釣りに行く。穏やかに黙って二人で一緒に時を過ごす。私に美しいへら鮎の魅力を教えてくれた祖父だ。しかし、私には火災発生の知らせに、仕事をしていた手を止めて現場に駆け付けた祖父の姿が心に刻まれている。「ジージが、ぶっ飛んでいった！」と家族に何度も告げた。上下が青い服にオレンジ色のベルトをした祖父。火が発生したという一斉放送やメールが届くと、祖父の中では、困難に直面している地域の皆さんのことが、第一優先になった。背中「登米消防団」の文字が火災現場に向かって行った。集会所にある消防団の車を運転し、消防団員の仲間とがっちりスクラムを組んで消火に務めた。

私がまだ小学生になったばかりの頃、近くの竹藪で火災が起きた。黒い煙と悪臭、火の勢いがすさまじかった。火事の恐ろしさを、初めて知った。祖父たち消防団は、日頃の消火訓練の成果を発揮した。祖父は分団長として皆に指示を出し、先頭になって鋭く鎮火に集中していた。民家に火が燃え移り、更に大変な事態にならないように心を配った。地域の消防団は命を守る尊い使命があったのだ。

しかし、それ以来私は、「祖父は黒い煙の毒を吸って大丈夫だろうか。やけどをしていないだろうか。」と心配し続けるようになった。祖母が先に亡くなってからも、祖父は危険を顧みず頑張り、後輩の育成にも努めていた。だからこそ祖父が退団した時は、心の底から「ジージ、本当にご苦労さん！」と伝えた。祖父を誇りに感じながらそばに寄り添った。

火災現場には、命の危険が伴う。人の命を救うには、まず自らの命を守り、そのうえで冷静な判断と行動力が求められるのだという。さまざまな状況の火災現場で、正しく状況判断をして血路を示し、安全に避難誘導をして活躍していた祖父。消防士と消防団が命懸けで協力していることを、私たちは忘れてはいけないと思う。そして、市民の一人として、ただ専門の方々に頼るだけでなく、その活躍を知ろうとする気持ちや実際に自分たちにもできることを探し、協力する姿勢が大切だ。

祖父たちは、日常生活を重視し、火の用心の声掛けや見回りを行って防火防災にも時間を割き、注意を促す便り等も配布していた。

祖父のメンタルの強さは、半端ではない。どんなに疲れ、困難があろうともあきらめずに決意したことを成し遂げる。私は祖父のように強くはないが、将来は消防団の一員となって、人のために役立つ人間になりたい。一人では無理なことも、地域の力を結集すれば何かができる。土台となる絆づくりから始めてみたい。例えば、一人暮らしの高齢者や身体の不自由な人も無事に避難できるように駆けつけたいと思う。私も地域の人々の命を守り、支える生き方を目指すつもりだ。

### 消防団員を募集しています

#### 【入団資格】

- ▶登米市内に在住しているまたは通勤・通学している人
- ▶年齢が満18歳以上の人
- ▶心身ともに健康な人

【問い合わせ】消防本部警防課(消防団係)  
☎0220(22)1901

# 人々の命を守り 支える生き方を

中田中2年

## 伊藤 孝太

Ito Kota

第21回全国中学生「防火防災に関する」  
作文コンクール 優秀賞



「全国で賞をもらうのは初めてなのでとてもうれしい」と笑みをこぼす伊藤。第21回全国中学生「防火防災に関する」作文コンクール(全日本消防人共済会主催)において、各都道府県から選抜された47作品の中で2位に当たる優秀賞を受賞した。

中学ではバドミントン部に所属。家での練習は、バドミントン経験者の祖父勇さんに相手をしてもらったりアドバイスをもらったりしている。休日は二人で海や川へ釣りに行くことが多く、祖父と過ごす時間は長い。

消防団員だった祖父からは、団員の努力や住民のために活動する尊い使命があることを聞いていた。消防服を着て現場に向かう祖父は誇りであり、尊敬している。災害などの現場は命の危険と隣り合わせの最前線。そこで活動する消防団のことを多くの人に知ってほしいと考えていた。担任の佐藤先生からコンクールへの出品を勧められたときは、即座に首を縦に振った。

コンクールのテーマは「みんな一緒に、地域を守る消防団」。伊藤は「命を守る地域の消防団」と題した作文の構想を練り始めた。どう表現すれば団

員たちの苦勞を分かってもらえることができるのか。どういう文章であれば地域の安全を守るために奮闘する団員のことを伝えられるのか。悩みなから出した答えは、自分の目で見てきた祖父を、飾らない自分の言葉で書き著すこと。現場では何を考え、どのような行動をするのか祖父に聞きながら、一気に筆を走らせ一週間足らずで書き上げた。

出来上がった作文は、消防団員の活動の様子を生き生きと描き出した。臨場感に溢れる描写は団員の緊張感が手に取るように伝わってくる。応募作は市代表作品として選出。県内でも最も優秀な作品として推薦され全国で高い評価を得た。

佐藤先生は「友達思いで、休み時間も後輩や周りのことを気に掛けてくれる」と話す。自身も「積極的に周りの人の手伝いをします」と胸を張る。これと決めた事にはとにかく一生懸命に取り組む。現在の目標は「バドミントンをうまくなってもっとチームに貢献すること」とどこまでも人の役に立ちたいと願っている。将来は消防団員になることを決意した伊藤。祖父のように人々の命を守り、支える生き方を目指し力強く一歩を踏み出した。

## 爽やかな一年を願い

### オリジナルポスター寄贈

迫町下舟丁出身の書家・デザイナーの日野薫かほるさんが1月18日、市役所迫庁舎を訪れ、今年の干支を題材にデザインしたポスターを市へ寄贈しました。

ポスターの文字は漢字の「寅」を金で描き、その上にひらがなの「とら」を黒で重ねたデザイン。背景は青を基調としており、周りを縁取る白いラインが透明感を演出しています。日野さんは「トラのどう猛なイメージが全体的に晴れやかになるよう意識しました。今、世の中の空気がよどんでいるように感じるので、青を使い、見た人が爽やかな気持ちになるようなデザインにしています」と作品へ込めた思いを語りました。



寄贈したポスターの紹介をする日野さん(右)。ポスターは市役所迫庁舎の入口に掲示しています。

## 子どもが考える未来

### 市の未来新聞コンクール

「第14回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール」の審査会は1月6日に開かれ、市内の小学校から応募があった63作品の中から8作品が入賞しました。

本年度は「未来へつながるまち～もっと登米市を好きになる～」をテーマに作品を募集。地域の良い部分をどう発展させるかやどのように課題を解決するかなど、子どもたちが市の未来の姿を想像しながら自由な発想で壁新聞にまとめています。食の名産品を紹介する入賞作品を鑑賞した佐藤きよみさん(43)、流音さん(9)＝南方町南大畑＝は「絵も写真もおもしろそうで、魅力にあふれる未来が楽しみです」と話しました。



応募された全作品は2月4日から20日までイオンタウン佐沼に、入賞した8作品は21から25日まで市役所迫庁舎に展示します。

## 市繁栄に向けて協力

### 各企業団体と協定を締結



市では1月、企業や団体と5つの協定を締結しました。内容は下記のとおりです。

締結日	企業・団体名	主な内容
1/13	みやぎ登米農業協同組合	市森林管理協議会(責任者、登米市長)がみやぎ登米農協店舗の新築工事に、市内産森林認証材を供給し、持続可能な森林資源の活用に取り組むもの
1/14	厚生労働省宮城労働局	地域の雇用対策などに連携して取り組むことにより、地域の人材不足を克服し、持続可能な地域経済の実現、若者の定着・定住による地域活性化を図るもの
1/14	日本橋兜らいぶ推進協議会	ワーケーションなどを通じ、サステナビリティ活動の推進に向けた連携や協力。相互の地域の持続的な発展を目指して取り組んでいくもの
1/27	日本郵便	従来の災害時の協力体制に加え、相互の資源を有効に活用した協働による活動を推進。地域の活性化と住民サービスの向上に取り組むもの
1/31	明治安田生命	健康寿命延伸の取り組みと身体活動・運動習慣の推進により、市民の健康増進や市民サービスの向上を図るもの

写真は左上:1月13日、中上:1月14日(宮城労働局)、右上:1月14日(日本橋兜らいぶ推進協議会)、左中:1月27日、左下:1月31日の協定締結の様子

## 安全願い決意新たに

### 市消防団の出初式を挙行

「消防団出初式」(菅原英義ひだよ団長)は1月9日、登米祝祭劇場で開かれ、関係者316人が参加しました。

出初式は、近年、火災や自然災害などにより地域防災力の中核となる消防団の必要性は増しており、出初式の挙行により市民の安全・安心を守る誓いを新たにします。菅原団長は「出初式を契機として平素から予防啓発活動や、実践的な訓練を積極的に行い、団員個々の知識、技術の向上に専心し、地域の防災リーダーとしての活躍を切望するものであります」と訓示。団員たちは、消防人としての高い誇りと市民の厚い信頼や期待に応えるという決意を新たにしました。



力強い行進による雄姿の披露はできませんでしたが、新年の活動に向けて気持ちを引き締め、団の結束を高めました。

## 無症状者の不安解消

### PCR検査センター開設

「木下グループPCR検査センター登米市指定PCR検査所開所式」が1月18日、市視聴覚センターで開かれました。

同検査所は、市民などの不安の解消のために、市が視聴覚センター内に検査場所を提供し、木下グループが運営します。検査対象者は検査を希望する無症状の人で、濃厚接触者や症状のある人は受検できません。検査は事前予約制で県内に住民票を有している人は無料です。検査方法は、検査キットを使用するセルフ形式。検査時間は5分程度で、後日、検査結果通知がメールで届きます。



建設業などを展開する木下グループのPCR検査センターは、本市が県内で5カ所目の開所。3月末まで開設されます。

01 民法が改正 成年年齢が18歳に

成年年齢の改正について

民法の改正によって4月1日より、成年年齢が20から18歳に引き下げられます。

そのため、18歳になれば親の同意がなくてもさまざまな契約をすることができま...

18歳から契約に対する責任が生じるため、契約をするときは、契約内容をよく確認し...

契約をするときや契約トラブルで困った場合は、消費生活相談窓口まで連絡ください。

02 あなたの声を市政に モニターを募集

【内容】市政に対し、建設的な意見や要望などを随時提出...

【定数】20人以内 【任期】委嘱日から令和5年3月末まで

【資格】18歳以上で、市内1年以上住んでいる 2 地方公...

03 意見をお寄せください 議会モニターを募集

【内容】1 議会を、議場やインターネット配信で傍聴 2 議会...

【定数】20人以内 【任期】委嘱日から令和5年3月末まで

【資格】1 市内在住の満18歳以上で、議会運営に関心を持つ...

ンロードできます 【募集締切】3月11日(金)当日消印有効

【申し込み問い合わせ】総務部市長公室(秘書総務係) 〒987-0511/登米市



市HP 「市政モニター募集」 QRコード

【募集締切】3月11日(金)当日消印有効 【申し込み問い合わせ】議会事務局

〒987-0511/登米市 迫町佐沼字中江2-6-1 ☎0220(22)1913



市HP 「議会モニター募集」 QRコード

04 市立病院に就職希望の看護学生を奨学金で支援

【市看護師奨学金】 【貸付対象者】看護師養成施設に在学し、将来看護師として...

【貸付金額】月額10万円以内 【貸付期間】貸付決定月から、看護師養成施設を卒業する月...

【貸付対象者】看護師奨学金貸付対象者のうち希望者 【募集人員】8人程度

【申込方法】次の書類を郵送するか、または持参してください 1 貸付申請書 2 在学証明書

05 障がい者の社会参加を促進 自動車燃料費・タクシー利用費助成

障がい者の社会参加促進のため、障がい者の使用する自動車の燃料費とタクシー利用...

障がい者自動車燃料費助成事業

【対象者】世帯全員の住民税が非課税で、次の1~3のいずれかに該当する人 1 身体障害者手帳1・2級、療育...

福祉タクシー利用助成事業

【対象者】本人の住民税が非課税で次の1~4のいずれかに該当する人 1 身体障害者手帳1・2級 2 身体障害者手帳3級...



【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係) ☎0220(58)5552

Information

06

## 軽自動車税を減免します

身体障害者手帳などを持ち、一定の要件に該当する場合は、軽自動車税を減免します。手帳の等級、車両の所有者、運転者などを確認しますので、期間内に申請してください。継続申請については、令和3年度に引き続き、郵送によるものといたします。令和4年度より、継続申請の手続きを簡略化し、確認書類の添付・提示を不要といたします。

令和3年度に減免申請をした人へは、3月下旬に減免申請書（継続用）を郵送しますので、必要事項を記入し、税務課まで郵送で提出ください。

ただし、下記の①または②に該当する人は、申請書類を持参のうえ、税務課が各総合支所市民課の窓口で申請をお願いします。

- ① 継続申請をする人で、車両や運転者などに変更がある人
  - ② 新たに減免申請をする人
- 【申請書類】▼減免申請書（税務課、各総合支所で配布）▼自動車検査証の写し▼運転者の運転免許証の写し▼身体障害者手帳、戦傷病者手帳、精神障

害者保健福祉手帳、療育手帳などの写し▼納税義務者のマイナンバーを確認できるものなど

【申請期間】4月4日（月）～25日（月）  
【申し込み・問い合わせ】総務部税務課（市民税係）

Information 07

## 「みやぎ鎮魂の日」に一斉黙とうを

県は、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めています。

市では、東日本大震災で亡くなられた人を追悼し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えていくため、一斉黙とうを実施します。

ご理解とご協力をお願いします。  
【実施日時】3月11日（金）午後2時46分  
【実施方法】コミュニティFM放送のサイレン吹鳴を合図に、一斉黙とうを実施  
【問い合わせ】総務部防災危機



0220(22)2163  
987-0595（住所記入不要）  
▼各総合支所市民課（市民係）

Information

08

## あなたの会社広告を市公用車に

市公用車への広告掲載希望者を募集します。

【対象者】市内に事業所や事務所、店舗などを持つ個人、法人  
【広告掲載車両】軽ワゴンタイプの車両17台/年間走行距離1万キロ以上、年間稼働日数200日以上（見込み）  
【申込受付期間】2月18日（金）～3月4日（金）

【申込方法】申込書に必要事項を記入して郵送するか持参ください。郵送の場合は、封筒に「公用車広告掲載申込」と記載してください。

※申込書は総務部総務課と上下水道部経営総務課で配布するほか、市公式ホームページからダウンロードできます

【申し込み・問い合わせ】

▼総務部総務課（財産係）  
987-0511 / 登米市  
0220(22)2091  
▼上下水道部経営総務課（出納管財係）  
987-0702 / 登米市  
登米町寺池目子待井381-1

0220(52)3314



### ■ 広告内容

掲載位置 (広告サイズ)	1台につき4枠 ▶車両前部/1枠 ＝縦30 <sup>センチ</sup> ×横40 <sup>センチ</sup> ▶後列両側ドア/2枠 ＝縦30 <sup>センチ</sup> ×横50 <sup>センチ</sup> ▶車両後部/1枠 ＝縦30 <sup>センチ</sup> ×横50 <sup>センチ</sup> ※広告内容に「登米市有料広告」の表示をすること（規格：縦3 <sup>センチ</sup> ×横24 <sup>センチ</sup> 以上）
掲載方法	ラッピングフィルムやカッティングシートなど、容易に剝がれる素材を貼り付けるものとします（車体への直接塗装はできません）
掲載期間	令和4年4月～令和5年3月
掲載料	1台当たり月額4千円（年額4万8千円） ※広告の製作費、車両への貼り付け、撤去費用は広告主負担です

Information 09

## 下水道の早期接続と排出汚水量の認定制度

### 下水道に早めの接続を

下水道が整備されている地域に住んでいる人は、下水道に接続することで、家庭内雑排水が直接側溝に流れないため、悪臭などが無くなり、水路や河川の水質が改善します。公共用水域をきれいにし、自然環境を保全するためにも、早めの接続をお願いします。

### 排出汚水量認定制度について

水道水以外（井戸水など）を生活用水として使用している人、下水道に一部のみ接続している人、製造業などの事業を営む人で、水道水の使用量と下水道に流す汚水量が大きく異なる場合は、排出汚水量の認定制度により、下水道使用料を算定します。

排出汚水量の認定申請をする人は「排出汚水量申告書」を提出してください。「申告書」は、上下水道部経営総務課（市

役所登米庁舎1階）に備えておけるほか、上下水道部市公式ホームページからダウンロードできます。

### 排出汚水量の認定制度に該当するケース

- ▼水道水以外を生活用水として使用している
- ▼水道水を次の用途で使用している①牛や豚などの畜舎で使用している②出荷用に、年間を通してビニールハウスなどで野菜や花き栽培に使用している③製造業などで製品に多量の水を使用している④育苗などで一時的に多量の水を使用している（原則として1カ月分のみ）

※新規の申請は、随時受け付けていますので、ご連絡ください

※現在認定を受けている人も、年度ごとに「排出汚水量申告書」の提出が必要です

【申し込み・問い合わせ】上下水道部経営総務課（業務係）  
0220(52)3311

## 文部科学大臣表彰

登米市スポーツ推進委員会の会長を務めている関壮一さんが、11月18日、文部科学大臣から表彰されました。関さんは、1994年から推進委員、現在は県スポーツ推進委員協議会副会長として尽力されています。



関 壮一 さん  
(南方町青島・63歳)

## 農林水産大臣表彰

伊豆沼農産は1月21日、農林水産大臣から「令和3年度地産地消等優良活動表彰」を受賞されました。本表彰は、伊豆沼農産の地場産農産物の利用促進による消費拡大などの観点で優れた取り組みが認められたものです。



伊豆沼農産 代表 伊藤 秀雄 さん

## 登米NPプロジェクト昭和 上條医療賞受賞

広報とめ11月号で紹介した東北医科薬科大学病院診療看護師(NP)と、豊里病院、登米市訪問看護ステーション、豊里老人保健施設、松風園、光風園、ゆりの郷との連携プロジェクトが、12月20日に昭和大学上條記念館で開かれた受賞式で、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団の「第8回昭和上條医療賞」を受賞しました。

本賞は、地域保健医療と医学・医療分野の教育において創造的で先駆的諸活動を行い、大きな成果を挙げた個人とグループを顕彰するものです。地域保健医療の質向上と国民の健康増進に貢献した幅広い地域の公益性の高い活動として認められ「地域保健医療貢献部門」で受賞しました。

市医療局では、今後も東北医科薬科大学病院をはじめ医療・介護などの関係機関との連携を深めながら地域医療の充実に努めていきます。



(前列左から)豊里病院佐藤看護師長、小寺院長、東北医科薬科大学住友准教授(プロジェクトリーダー)、登米市訪問看護ステーション三浦所長、東北医科薬科大学病院黒澤診療看護師、(後列)プロジェクト関係者ほか



# 健康

## 3月の献血日程

5日(土)  
▶イオンタウン佐沼  
10:00～11:45  
13:00～16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】  
市民生活部健康推進課  
(保健推進係)  
☎0220(58)2116

自殺予防  
**仙台いのちの電話**  
誰にも言えない気持ち  
聞かせてください。  
☎022(718)4343

ひきこもり  
**ひとりで悩まないで**  
宮城県ひきこもり地域支援センター  
☎0229(23)0024

## 子ども夜間安心コール

●電話番号  
#8000  
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
☎022(212)9390  
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)  
●相談時間  
毎日午後7時～翌朝午前8時

## 休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)  
☎0229(24)2267

▼【問い合わせ】  
仙台キリスト教育院みやぎ里親支援センター けやき  
☎022(718)1031  
▼県中央児童相談所  
☎022(784)3583  
▼県東部児童相談所  
☎0225(95)1121



**子どもの育ちを応援 里親制度説明会**  
さまざまな事情で自分の家族と暮らせない子どもたちがいます。そのような子どもたちを家庭に迎え入れ、健やかな育ちを応援する。それが里親制度です。  
制度説明会では、里親制度の話や里親体験談のほか、希望者には個別相談も受け付けます。個別相談のみの参加も可能ですので、気軽に参加ください。  
※申し込み不要

## 日時・場所

日時	場所
3月26日(土) 午後1時30分～4時	名取市文化会館(会議室) 名取市増田柳田 520
3月27日(日) 午後1時30分～4時	石巻市蛇田公民館(会議室B.C) 石巻市恵み野2丁目 11-1

## 3月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
6日(日)	八木小児科医院(迫町) ☎0220(22)2566	かがの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
13日(日)	新田診療所(迫町) ☎0220(28)3398	スマイル歯科(南方町) ☎0220(23)7756
20日(日)	わたなべ内科クリニック(迫町) ☎0220(21)5335	登米中田佐藤歯科クリニック(中田町) ☎0220(34)3888
21日(祝)	おおともクリニック(津山町) ☎0225(68)3210	グリーンヒルズデンタルクリニック(中田町) ☎0220(44)4611
27日(日)	大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	ゆうじろう歯科クリニック(中田町) ☎0220(23)8785

●診療時間 9:00～12:00、13:30～17:00  
【休日急患当番医】  
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511  
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084  
※月～金曜日(休日を除く)  
【歯科休日当番医】  
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116  
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

**石巻市夜間急患センター**  
●診療科目 内科、外科、小児科 ※原則応急処置まで  
診療時間など、詳しくは問い合わせください。  
【問い合わせ】石巻市夜間急患センター(石巻赤十字病院敷地内) ☎0225(94)5111

## 病院事業だより

### ②登米市病院事業の取り組み

～市民の皆さんと未来の病院事業と一緒に考えるため、登米市病院事業についてシリーズで紹介します～

市立病院などが、市民の安全安心を担う地域医療の拠点として継続的・安定的に良質の医療を引き続き提供していくための長期的な将来ビジョンとして「病院事業中長期計画」を策定しています。この計画では、患者さん本位の医療を実践し、患者満足度を高めるとともに、医療機能の役割分担による経営の効率化や後発医療品を採用する取り組みなど収支の改善に向け取り組んでいきます。今号では、効率的な医療の提供、医師確保対策、医療介護連携の推進、新型コロナウイルス対応について紹介します。

### ■効率的な医療の提供

限られた医療資源の中で効率的で質の高い医療が提供できるよう、主に登米市民病院が手術や重症者などを対象に治療する急性期医療を提供し、米谷病院と豊里病院は、症状が安定してきた人へのリハビリやケアなどをする回復期と慢性期の医療を提供するよう機能を分担しました。

患者さんの状況により、登米市民病院から米谷病院や豊里病院への転院をお願いする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。



登米市民病院内のリハビリテーション室の様子

### ■医師確保対策

医師確保に向けて、登米市民病院は医師の初期研修に必要な新入院患者数や施設・設備、指導体制が確立できたとして、県に対し「臨床研修病院」の指定を申請し、令和3年2月に指定されました。これまでも、臨床研修病院の協力施設として、「初期研修医」を短期間で受け入れていましたが、令和4年度以降は、主体的に受け入れることが可能になりました。

また、東北大学と東北医科薬科大学から、総合診療医の育成のため、医学生の実習を受け入れており、医師などの研さんの場としての位置付けを確立しつつあります。



臨床研修病院指定証

### ■医療介護連携の推進

病気になっても、自宅や施設で安心して療養生活を送れるように、病院事業では、医師の指示のもと、医師に代わって、特定の医療行為ができる診療看護師(NP)を養成しており、令和3年度に2人の診療看護師が誕生しました。

診療看護師による、在宅療養している人の自宅や介護施設などへの訪問など、地域での活動内容の充実を図りながら、在宅などにおいてもよりよい医療が受けられる体制を構築していきます。

### ■新型コロナウイルス対応

市は、令和2年3月の県内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、同年5月に、市医師会の協力により、市内での感染拡大防止を目的とした発熱外来を、県内で先駆けて登米市民病院の敷地内に設置(現在は終了)しました。また、新型コロナウイルスワクチンの接種には、医療従事者などを対象に優先接種を実施し、市の集団接種にも市医師会とともに勤務医や看護師の派遣をしています。さらに、登米保健所と連携して、疑い症状の患者を診察する有症者外来の運営や医師の判断によるPCR検査を実施するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めています。

### 感染拡大防止へのお願い

オミクロン株感染者の増加により感染が拡大しています。コロナウイルスは常に身近にあるものと考え、①マスクの着用、②手洗い、③3密を避ける、④十分な換気をするなど、基本的な感染予防が大切です。また、発熱やのどの痛みなどの体調不良を感じたら、無理をせずすぐにかかりつけ医に相談してください。

【問い合わせ】医療局経営管理部経営管理課(管理係) ☎0220(21)6888

豊里



地域住民が地元文化を伝える

総合的な学習「郷土の話」は1月13日、豊里小・中学校(大場正浩校長、児童生徒489人)で開かれ、3年生54人が県の有形民俗文化財に指定されている竈神について学びました。

竈神は江戸期に火が安全に使われるようにと、家々に祭られたといわれています。児童らは、学校支援ボランティアの守屋博さんを講師に、竈神の由来や民話について説明を受け、興味深く聞き入っていました。

無火災を願い地元神社で祈願

市消防団米山支団の「登米市消防団米山支団無火災祈願」は1月16日、米山町の網場神社で開かれ、大川俊司支団長ら関係者5人が出席しました。

今回の無火災祈願は、新型コロナウイルス感染症対策のため人数を制限して開催。玉串を奉納し、令和4年の米山地区の無火災を祈願しました。大川支団長は「今年は無火災で過ごせるよう、火災予防の啓発に力をいれたい」と防災に向けた取り組みへの決意を話しました。



米山

石越



災害時は中学生も支援の力に

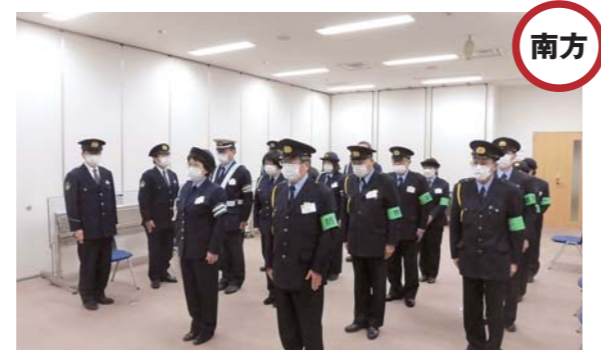
「石越地区災害ボランティア研修会」(登米市社会福祉協議会石越支所主催、佐藤伊支所長)は1月27日、石越中学校で開かれ、2年生28人が参加しました。

研修会は災害ボランティアセンターの説明を受けた後、4グループに別れて災害ボランティアの受け付けや避難所で使う簡易テントの組み立てなどを体験しました。研修会后、生徒を代表し、工藤快太さんが「災害時は、災害ボランティアとして地域のために活動したい」と話しました。

地域の見守り誓い気持ち新た

「交通安全・防犯指導隊への市長告辞伝達式」は1月13日、市役所南方庁舎で開かれ、南方地区交通安全と防犯の指導隊員15人が出席しました。

この式は、中止になった令和4年出初式の代わりとして実施。南方地区の両指導隊に市長告辞が伝達されました。両指導隊長は「今後も交通事故防止のため隊員一丸となり任務を果たします」「犯罪を防止し、明るく住みよいまちづくりを推進していきます」と決意を新たにしました。



南方

津山



新年迎え木でトラの親子制作

新年を迎え、木工職人の西條孝一さん(73)＝津山町横山11区＝の工房では、本年の干支であるトラの置物が制作されています。

今年のトラは特に細かいパーツが多く、手の込んだ力作。もくもくハウスでの販売のほか、インターネットからの注文も多く、売れ行きは好調です。西條さんは「トラを表現しつつ、可愛さを出すため何度も試行錯誤した。可愛いと思ってくれたらうれしい」と、作品に込める思いを話しました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



新田地区死亡事故ゼロ6千日

「交通死亡事故ゼロ6千日達成表彰式」は1月19日、市役所南方庁舎で行われ、市交通安全対策協議会と県佐沼警察署から新田地区コミュニティ推進協議会の星勘司会長へ褒状が贈られました。

同地区では、2005年8月から交通死亡事故ゼロを継続し、1月17日に6千日を達成。星会長は「地域の皆さま一人一人の交通安全意識があつてこそその達成。今後も記録を伸ばしていきたい」と力強く話していました。

ネットの危険と利用法を学ぶ

「スマホ防犯安全教室」は1月18日、登米小学校(岩淵達郎校長、児童203人)で開かれ、6年生30人が参加しました。

同教室は、KDDIの大黒晃さんと登米警察署の小川徹太さんを講師に開催。児童たちはオンラインゲームやSNSでのトラブルについて問題点や原因を考えたほか、インターネットでも相手を思いやった発言をする必要があることなど、利用時の正しい知識を学びました。

登米



東和



冬ならではのスポーツ楽しむ

「米谷公民館青年教育事業スノーボード教室」(米谷公民館主催、齋藤茂春館長)は1月22日、岩手県北上市の夏油高原スキー場で開かれ、地域住民8人が参加しました。

午前中にインストラクターから滑り方について指導を受け、午後からはそれぞれに別れてゲレンデを滑走。最初はうまく滑れなかった初めての参加者も、一日を通して少しずつ上達し、スノーボードの楽しさに触れながら親睦を深めました。

若かりし頃の写真を懐かしむ

「二十歳の写真展」(上沼コミュニティ運営協議会主催、千葉博幸会長)は1月5日から20日まで、上沼ふれあいセンターで開かれ、市内外から760人が来場しました。

1963から2020年までに開催された旧中田町4地区の成人式の集合写真58年分、約200枚を展示。会場では、偶然再会した同級生や知り合いとともに、若かりし頃の思い出に話が弾んだり、家族で来場し一緒に観覧したりするなど、微笑ましい光景が見られました。

中田



### 3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



## いつまでもお元気で おめでとうございます 祝100歳

### 1月中に応募があった子どもたちを 掲載しています

現在、介護施設に入所。「相撲を見るのが楽しみです」と話していました。

大正11年1月20日生まれ  
(登米町・金沢山)



小野 たかふささん

大正11年1月2日生まれ  
(南方町・音野谷地上)

南方町で生まれ、音野谷地上に嫁ぎました。夫婦で農業に励み、3人の息子を育て上げました。「家族や親戚が集まると大黒舞を唄い、みんなに躍らせたことが良い思い出」と話していました。入所中の介護施設でドーンパン節を披露しています。



榊原 たけ子さん

大正11年1月24日生まれ  
(南方町・真大岳)

米山町出身のたかふささん。若いころは、農業一色だったと話します。好きな食べ物は魚類。今までで一番の思い出は、夫婦旅行だと話します。

大正11年1月9日生まれ  
(迫町・舟橋)

ちか子さんは、迫町北方で生まれ、南方町の裏大岳に嫁ぎました。結婚後は、農業に励み、裁縫が得意で、若いころは着物も縫いました。「今でも、家族の洗濯物をたたんだり、自分の身の回りのことは何でもする」と話していました。



名生 たけさん

大正11年1月11日生まれ  
(津山町・柳風園)

たけさんは、26歳まで看護師として活躍。結婚後は、農業に励み、体を動かすことが好きなたけさんは、草取りが得意だったと話します。二日30分の歩行と、家族と一緒に規則正しい生活が長寿の秘訣と話していました。

大正11年1月24日生まれ  
(米山町・中新田)

山梨県出身の船さん。23歳で結婚。結婚した年に米山町に移りました。若いころは、レクダンスや手芸などの趣味を楽しみました。現在は、介護施設で体操などをし「健康に気をつけ、楽しく暮らしている」と話していました。



原 船さん

たけさんは、26歳まで看護師として活躍。結婚後は、農業に励み、体を動かすことが好きなたけさんは、草取りが得意だったと話します。二日30分の歩行と、家族と一緒に規則正しい生活が長寿の秘訣と話していました。



佐々木とくみさん

一般向け

子ども向け

### PICKUP\_04 「アカンヒズカン」



野々村 友紀子/著  
悪い人ではないんだけどちょっとめんどくさい人がアカンヒツ。「アカン」を自分の考え次第で「イイ」に転じ、人生を楽しいものにする人になってみませんか。

### PICKUP\_05 「国鉄・JRの廃線アルバム東北編」



山田 亮/著  
東北地方の国鉄・JR路線の廃線を網羅し、第三セクター継承路線や、大船渡線、気仙沼線といったBRT継承路線も掲載。懐かしの駅舎や鉄道風景をご覧ください。

### PICKUP\_06 「真夜中のマリオネット」



知念 実希人/著  
婚約者を「真夜中の解体魔」に殺された秋穂は復讐しようとするが、無実を訴えられることになり…。真犯人を探す二人の行動から目が離せません。

### PICKUP\_01 「宝石のすべて」



宝石のすべて編集室/著  
私たちが目にする機会の多い宝石は、磨かれ、カットされた美しい状態。磨かれる前の結晶、宝石の特徴や魅力、まつわる伝説などを楽しく学んでみませんか。

### PICKUP\_02 「季節の楽しいおりがみ」



Oriya 小町/著  
紙一枚でいろいろな形のものを作ることができるおりがみ。年中行事に関連した作品や、アレンジの仕方を紹介しています。折り図が写真なので覚えやすいです。

### PICKUP\_03 「せかいでいちばんのぼしよ」



ベトル・ホラチェック/作  
「ぼくらはらっぱはせかいでいちばんのぼしよかな？」と、うさぎはあなうさぎたちに尋ねました。ある日のうさぎは世界で一番の場所を探しに旅に。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

### Library Topics

## みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

## 雑誌スポンサーを募集します

雑誌スポンサー制度とは、図書館(室)に並べる雑誌の購入代金を法人や個人事業主などに負担してもらい、最新号のカバーに雑誌スポンサー名を、裏面には雑誌スポンサーの広告を掲載するものです。この制度によって図書館(室)が提供できる雑誌の冊数が増え、利用者にも大変喜ばれています。さらなる利用者サービスの向上を図るため、雑誌スポンサーへの協力をお願いします。

申し込み方法など、詳しくは迫図書館まで問い合わせください。

現在協力いただいているスポンサー(敬称略、50音順)  
アベ美装、上杉皮膚科医院、太田組、カワウチ、川内印刷、爽陽、登米法人会、宮城石灰工業、みやぎ登米農業協同組合



■開館時間 午前9時～午後5時  
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)  
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください  
■問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820  
登米図書館 ☎0220(52)5330  
中田図書室 ☎0220(34)8081



## Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

### 首藤 佑太郎さん

しゅとう・ゆうたろう 登米中2年  
登米町・上館

#### 夢を形にする仕事

僕は将来「大工さん」になりたいと思っています。きっかけは、手際よく家を立てる大工さんの姿を見たことでした。昨年家を新築した際に、てきぱきと作業を進める大工さんの姿を見て格好良いと思いました。設計図だけでは、イメージできないものが、形作られていく過程に感動し「大工さん」という職業に憧れるようになりました。

職場体験で工務店に行き、設計図の描き方や電動工具の使い方などを教わりました。そして野球道具を収納するケースを設計し、作らせていただきました。設計図から形にすることは苦労しましたが、実際に電動工具に触れ、作りたいものを形にすることが体験でき、本当に楽しかったです。

今後も夢を叶えるためにしっかりと勉強していくとともに、さまざまな動画や建築物を見てイメージを膨らませ、将来、家を建てる人の夢を形にできる「日本を代表する大工さん」になりたいです。

## Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

### 柳 泰孝さん(23)

やなぎぶち・やすたか  
米山町・的場

★身長と血液型 168センチでA型です。

★現在は 米山町で両親とイチゴを栽培しています。幼いころから両親が農家として働く姿を見て育ったので、自然と農業に興味を持ちました。登米総合産業高と県内の短大で農業を学び、今の仕事に携わるようになって3年が経ちますが、まだまだ勉強することが多いです。苗作りから始めてイチゴが病気にならないようにしっかりと管理し、出荷までたどり着くという過程がこんなに大変な作業だったのだと、働いてから気付かされました。大変だからこそ収穫できたときはとてもうれしいです。

★自分の性格 優しいといわれることがありますが、少し短気なところもあります。

★休日は バイクが好きで、メンテナンスをしたり友人とツーリングしたりして楽しんでいます。

★理想の女性像 どこに遊びに行きたいかをはっきりと言ってくれたり、自分の悪いところを指摘してくれたりするしっかりした人が良いと思います。

★今やってみたいこと 「キャンプ飯」を作ってみたいです。最近、動画配信サイトでキャンプの動画をよく見ていて興味を持ちました。コーヒーなど簡単なものから挑戦していき、いつかは段ボールを使って薫製を作ってみたいです。あとは、小学校を卒業するまで習っていた舞踊をまたやってみようかなと考えています。

★登米市について一言 市内で農業を営んでいる同級生が多いので、若い世代が率先して農業全体を盛り上げていきたいです。



## Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



渡邊 葵文ちゃん(2歳、右)

2019年3月1日生まれ  
登米町・五郎峯 将孝さんの長女  
お兄ちゃんにも負けないくらい気の強い活発な女の子です。4月からこども園。お友達いっぱいできるかな。



伊澤 慧くん(2歳)

2019年4月23日生まれ  
豊里町・西二ツ屋 一弘さんの三男  
三兄弟の末っ子。いろいろなことを覚えて家族を笑わせてくれます。のびのびと元気に大きくなってね。



菅原 悠とくん(1歳)

2020年12月8日生まれ  
迫町・錦東 和哉さんの長男  
大好きなイチゴや焼き芋を見ると大興奮の悠とくん。たくさん食べて、いっぱい遊んで大きくなってね。

#### ～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。  
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付してください＜応募先＞まちづくり推進部まちづくり推進課広報係  
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:  
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





片岡 鉄雄さん(89)
和子さん(87)
登米町・西針田
1955(昭和30)年12月入籍

病氣しないで健康に過ごしたいね

★二人のなれ初めは
【鉄雄】昔だがお見合いで知り合ったんだけど、緊張してちらっとしか顔見れなかったね(笑)。
★結婚当時の思い出は
【鉄雄】養蚕したり田んぼしたり林業したりで忙しかったね。当時は森林組合が無かったが森林保護組合の立ち上げもしたね。
【和子】新婚旅行はできなかったけど、二年に一回、部落の人たちとトラックの荷台に乗って鳴子や松島へ泊まりに行くのが楽しかったね。
★お互いの性格は
【鉄雄】たまに聞かないとこも
あるけど、けんかしたことはないね。
【和子】落ち着いてで、怒ったところは見たことが無いよ。
★夫婦円満のコツは
【二人】怒りたくなるときもたまにあるけど、言わずに一度飲み込むことがなあ。
★現在の楽しみは
【鉄雄】コロナがはやる前は、小学校にしろ縄づくりを教えに行くのが楽しかったね。
【和子】月に一回近所の人たちにお茶飲みしながら世間話することだね。
★これからしたいことは
【和子】二人とも病氣しないで健康に過ごしたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさとを誇りに」

私が、ふるさとを離れ四十数年になります。以前は帰省しても「家族や友人に会えてよかった。懐かしかった」くらいで、特別ふるさとについて意識したことは無かったです。意識したのはのは、東日本大震災で壊滅的な被害を受け、復興が進む中、東京オリンピックのポルト競技会場の候補に長沼が挙がったときです。それには大変驚きました。何かにつけて「候補地の長沼ポルト場は私の地元なんだよ。そこに母校のポルト部もあるんだよ」と、会社の同僚や取引先、友人などに自慢したことが、まるで昨日のことのように思い出されます。小池都知事が視察に来るくらいなのだから、もしやと期待していた

亀川 善悦さん(63)

関東地区
宮城県南方町人会事務局
南方町(梶沼)出身



のですが、残念ながら落選。かなりショックでしたが、登米市と長沼の知名度が上がっただけでも良かったと思います。そしてNHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」。放映の1年くらい前から知ってはいたのですが「本当に気仙沼と登米がドラマになるなんて」と、大変興奮しました。今までこんなにも我がふるさとを愛しく、頼もしく、誇らしく思ったことは無かったと思います。しかし、放映と時を同じくして、新型コロナウイルスの感染拡大で、帰省することもままならなくなってしまうました。子どもたち、特に孫たちに私の生まれ育ったふるさとを見せてあげたい。ふるさとの空気を肌で感じさせ、いっぱい吸わせてあげたい。少しでも私が生まれ育った環境に浸してやりたい。そして少しでも好きになって自慢に思ってくれたらと、そんなふるさとへの思いがますます募ります。メディアなどで目や耳にするたび、私を元気にしてくれたり、励ましてくれたりと、そんな我がふるさと登米市に改めてエールを送ります。
登米市ありがとう。遠く離れた埼玉の地から、いつまでも誇りに思っています。

おらほの物産

とよま観光物産センター「遠山之里」



店内にはおかえりモネのグッズが充実。今しか買えない商品もありますので、お早めにお買い求めください。

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の山田忠則取締役管理部長にお話を伺いました。
Q人気商品やおすすめ商品などを教えてください
登米市が舞台の一つになったNHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」のグッズがおすすめです。昨年、放送は終了しましたが、遠山之里では今年の10月まで、グッズを販売する予定です。人気で品薄が続いたキャラクターパペットも販売しています。その他には140年の歴史がある田辺菓子店の「太白飴」もおすすめ



登米名物「太白飴」は140年?
で税込540円

です。「太白飴」は砂糖を一切使わず、麦芽の自然な甘みが楽しめます。飴に適した良い状態の麦芽を使うため、10月下旬から5月中旬にしか作られない期間限定の商品です。また、自宅で過ごすことが多くなった今の状況を楽しんでもらえるよう、新しくコーヒーや玄米茶などの専門コーナーを設置しました。市内や近隣の地域で作られたコーヒーをメインに販売していますので、地元の味を飲み比べしてみてください。当店で販売を希望するお店や企業も募集していますので、詳しくは問い合わせください。
【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」
0220(52)5566



コーヒーなどは小分けで販売。さまざまな味を試せます

作品募集!

●4月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、2月28日(月)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句・川柳
まちの文芸

俳句
冬麗のしろさわだちて鶯光り
舞初の「さんさしぐれ」や三姉妹
新雪に孫描きしのそり滑り
七草やまじなひ唱へ粥を煮る
音立てて竹林濡らす村時雨
断腸の賀状仕舞ひのあまたあり
育みて摘むに愛しき若菜かな

- 遠藤 光昌 (迫)
小野寺智子 (迫)
杵渕 博 (迫)
及川 豊子 (東和)
大平 清登 (東和)
菊地 典子 (中田)
黒田 律子 (中田)

初日の出門より夫と押しけり
「爺どうぞ」柿落葉載る泥だんご
やれ嬉し元氣知らせる旧友の賀状
雁の群見送りながら引くカーテン
雪見風呂なんのかんのと幸せよ
九十の齢いだだき初句会
古き本読み返す日々漱石忌
ほほ笑みは言葉のひとつ初句会

- 石崎よしの (米山)
三浦 健治 (石越)
佐瀬 徳 (南方)
三上 久美子 (南方)
浅野のり子 (津山)
佐藤喜美子 (津山)
須藤 桂子 (津山)
高橋ちよの (津山)

応募総数38作品

# 情報場

## Information

掲載している情報は、新型コロナウイルス感染症の影響などに伴い変更になる場合があります。

### 夜間納税相談窓口 (2月・3月分)

【日時】2月24日(木)  
3月24日(木)  
いずれも午後8時まで  
【場所】総務部税務課  
(迫庁舎1階)  
【問い合わせ】  
総務部税務課(徴収対策係)  
☎0220(22)2169

## 催し

### 映画上映会を 視聴覚センターで開催



【上映作品】「ロイヤルコギ」  
ギョレックスの大冒険(アニメ映画)

【日時】3月6日(日)午後1時30分(午後1時開場)  
【場所】視聴覚センター12階(第1研修室)  
【対象者】幼児・大人  
※小さなお子さんは、保護者同伴をお願いします  
【定員】20人(先着順、事前申込)

不要、定員超過時は入場制限が有ります  
【入場料】無料  
【問い合わせ】視聴覚センター  
☎0220(22)5219

### ひとり親家庭等 就業支援講習会を開催

① 介護職員初任者研修・春期  
【日時】4月10日～9月25日各日曜日23回(実習2日含む、8月14日お盆休講・9月4日18日は、施設実習期間のため講習会無し)／午前9時～午後5時10分  
【定員】15人程度  
【費用】受講料無料(教材費、実習費)9千円程度)  
【申込期間】3月1日(火)～23日(水)  
② パソコン講習会エクスセル2019日曜コース  
【日時】4月17日～7月17日

### 聴覚障がい者支援 みみサポサロンを開催

聴覚障がいのある人とその家族、関係者など、どなたでも参加できる「みみサポサロン」を開催します。  
手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応します。さまざまな相談にも応じます。  
【日時】3月7日(月)午後1時30分～3時30分  
【内容】①「呼吸で健康!」心身の健康に繋がる呼吸法について、理学療法士から分かりやすくお伝えします②「サイコロトーク」参加者同士で交流を楽しみませんか

【会場】市役所南方庁舎(2階 中会議室)  
【申し込み】事前の申し込みは不要です。当日、会場へお越しください  
※盲ろう通訳を希望する場合は、事前に連絡ください  
※福祉事務所では月、火、金曜日に手話通訳相談員を設置し、意思疎通の仲介や手話講習の講師などを行っています。詳細は生活福祉課まで問い合わせください

【問い合わせ】  
▼宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)  
☎022(393)5501  
☎022(393)5502  
▼福祉事務所生活福祉課(障

### 住宅入居者を募集

募集する住宅

定住促進住宅

迫定住促進住宅

① 1号棟204号室(2階・3DK)  
② 2号棟301号室(3階・2DK)  
(迫町佐沼字中江一丁目13番地4)  
▶ 募集戸数=2戸  
▶ 家賃月額=①3万5000円、②2万4500円  
▶ 駐車場=各戸1台(別途2千円)

【入居資格】住宅に困っている世帯  
※定住促進住宅は、一定以上の所得があることなどの入居要件があります。  
※詳細は、住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項をご確認ください。

【申込期限】3月3日(木)※期限厳守・郵送不可  
【申し込み】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課  
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)  
☎0220(34)2316

(各日曜日・14回)／午前9時～午後5時  
【定員】10人程度  
【費用】受講料無料／教材費・検定料1万6千円程度  
【申込期間】3月11日(金)～31日(木)

● 共通事項  
【対象】県内在住のひとり親家庭の親か寡婦で、全日程受講できる人  
【場所】宮城県母子・父子福祉センター

【託児】3歳から小学校3年生まで(託児料無料)  
【申込方法】官製ハガキかファクシミリで講習名・住所・氏名・電話番号・託児の有無(年齢)を記入し、申込期限までに、宮城県母子福祉連合会へ申し込みください  
※定員を超えた場合は、選考します

【申し込み・問い合わせ】宮城県母子福祉連合会(宮城県母子・父子福祉センター内)  
〒983-0832 / 仙台市宮城野区安養寺3丁目7-3  
☎022(256)6512

### 登米懐古館企画展 花鳥舞う

藩祖伊達政宗をはじめとする仙台藩主たちは、武道と同様に和歌や能楽、茶の湯など



文化的事業を身に付けていました。5代吉村は書画をたしなむことで知られています。6代宗村も父譲りの素養を身に付けていました。そうした二人の藩主や江戸期に活躍した画家の作品を前期に展示します。後期の展示は、仙台四大画家(東・東洋・小池・曲江・菅井・梅岡・菊田・伊洲)の作品などを紹介し、花鳥画の魅力をお伝えします。  
【展示期間】2月14日(月)～6月5日(日)  
※3月14日(月)は、展示替えのため閉室します  
▼前期 2月14日(月)～3月13日(日)  
▼後期 3月15日(火)～6月5日(日)  
【場所】登米懐古館  
【入館時間】午前9時～午後4時30分  
【観覧料金】大人 400円、高校生 300円、小・中学生 200円  
【問い合わせ】登米懐古館  
☎0220(52)3578

## 募集

### 大事な命を救うため 普通救急講習会を開催

【日時】3月20日(日)午前9時～正午  
【講習内容】心肺蘇生法、AED使用方法、止血法など  
【場所】消防防災センター  
【受講料】無料  
【募集人数】15人(先着順)  
【申込期限】3月13日(日)  
【申込方法】消防署救急係へ電話で申し込みください  
※再講習を希望する人も併せて募集しています  
【問い合わせ】消防署救急係  
☎0220(22)2119

### 国土交通省 河川愛護モニター募集

国土交通省では、河川愛護に関心のある20歳以上の健康な人をモニターとして募集します。  
任期は、7月から令和5年6月までの1年間です。モニターは、国が管理する近くの

### シルバー人材センター 会員募集

人生100年といわれる現代の高齢者が活躍できる場を支援します。  
● 会員条件  
▼健康で働く意欲のある人  
▼原則60歳以上で登米市に居住の人  
▼センターの趣旨に賛同する人

### 入会説明会

【日時】3月15日(火)午後1時30分～1時間30分程度  
【場所】登米市シルバー人材センター  
● 申込方法  
毎月15日に開催している入会説明会に参加ください  
● 仕事内容  
室内清掃・受付事務・筆耕・植木剪定・大工仕事・自動車の運転・草取り・草刈りなど  
【申し込み・問い合わせ】登米市シルバー人材センター  
☎0220(22)8526

DAIYU HOME CENTER 登米中田店

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

春の自転車勢揃い!

自転車ご購入特典

特典1 自転車ご購入のお客様 3ヶ月点検無料  
特典2 防犯登録(有料)のお客様 1年盗難補償付  
特典3 自転車ご購入につきご不用の自転車 1台無料引取

税抜3,000円以上お買上げで

ポイント5倍

ダイユーエイト 登米中田店案内図 広告

ウジエスーパーさん 398  
マツモトキヨシさん 346  
薬王堂さん  
JAみやぎさん  
中田総合体育館  
登米市立宝江小学校

ヨークタウン内ダイユーエイト登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒産400  
TEL 0220-23-9433

営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術でまかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事  
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1  
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

■ アクアショップ KUMANEN ■ BFC クマナン ■ 備前オウイング  
■ コインランドリー 清潔空間 ■ なごみの家からり ■ 燻ケアサービス(備)

TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732  
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

## 登米祝祭劇場 3月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
6日	● 舞台技術講座 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】1000円 (要申し込み/高校生無料) 【定員】15名 【参加資格】	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
27日	● 熊谷流 第50回舞踊公演 【開演】午後1時 【会場】大ホール 【入場料】無料(関係者)	熊谷流 ☎ 0220(34)3192

※3月の休館日は、7日、14日、22日、28日です

### 登米祝祭劇場からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントが変更・中止となる場合があります。

- 【注意事項】
- ① クラスター対策のため、氏名・住所・連絡先の記載
  - ② 大・小ホールや練習室の利用人数の制限
  - ③ うがい、手洗い、消毒、マスク着用、換気の励行

## 再エネ発電事業に関する 条例(案)への意見募集

市は、自然環境や景観、安全・安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー(再エネ)発電事業との調和を図り、潤いのある豊かな地域社会及び住み続けられるまちづくりに寄与することを目的とした条例制定を進めるに当たり、条例案に対する意見を募集します。

【募集期間】2月18日(金)から3月17日(木)まで  
【公表する資料】①(仮称)登米市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例(案)②(仮称)登米市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例(案)の概要③規則で定める主な内容

【公表場所】市民生活部環境課(南方庁舎2階)、市公式ホームページ、各総合支所、各公民館ふれあいセンター  
【提出方法】▼「条例(案)」に対する意見」と明記し、郵送、ファクシミリ、電子メールまたは持参のいずれかの方法で提出してください(様式は自由)▼住所、氏名(団体などの場合は、所在地、名称、代表者名)、電話番号を必ず記入し提

出してください  
※電話での受け付けはできません

【意見の取り扱い】  
「登米市個人情報保護条例」に基づき適切に取り扱います。また、個別の回答はしませんが、意見の概要と意見に対する考え方を取りまとめたいうえ、後日市公式ホームページで公表します

【提出先・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)  
〒987-1044 6 / 登米市南方町新高石浦130  
☎ 0220(58)5553  
☎ 0220(58)3345  
✉ kankyo@city.tome.miyagi.jp

## 結婚活動を支援します 良縁TOME参加者募集

### 自分磨きセミナー

● 男性向け異性間コミュニケーションセミナー「相手の心に伝わる会話術」

【日時】2月20日(日)午後1時30分～3時  
【場所】迫公民館(1階研修室)  
【参加費】500円  
【条件】20～40歳の市内在住の独身男性  
● 女性向けメイク&ヘアケアレッスン

歳以上の独身の人

【申し込み・問い合わせ】良縁TOME事務局(マリッジサロンプレジール)  
0120(279)360  
✉ marriagesalonsal@ gmail.com

## お知らせ

### 登米保健所の 組織再編について

県では、保健所職員の専門性の向上と災害発生時の対応力強化を目的として、令和4

## ねんきんだより

### 異動時期は国民年金の 手続きを忘れずに

年金加入者は、職業などにより、3つの種別に分かれます。20～60歳の間に種別が変わる場合は、届け出が必要です。

■ 保険料の納付  
給料から保険料が天引きになる会社員などと異なり、自営業者、農業従事者、学生などの第1号被保険者は、自分で保険料月額1万6610円(令和3年度時点を納めなければなりません。加入手続き

こんなとき	変更後の種別	届け出先
就職して厚生年金に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
■ 第2号被保険者 (会社員、公務員など)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
退職したとき	第1号被保険者	各総合支所 市民課
退職して第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
■ 第3号被保険者 (第2号被保険者に扶養されている年収130万円未満の配偶者)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
収入増加などで扶養から外れたとき	第1号被保険者	各総合支所 市民課
扶養している配偶者が65歳になったとき	第2号被保険者	勤務先
就職して厚生年金や共済年金に加入したとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
扶養している配偶者の勤務先が変わったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

後、納付書が送付されますので、銀行、農協、信用組合、信用金庫、郵便局、コンビニエンスストアや電子納付などで納めるか、口座振替をご利用ください。収入が無く、納付が困難な場合は、申請によって保険料を免除または猶予する制度があります。学生には、学生納付特例制度がありますので、年金事務所または最寄りの総合支所市民課までご相談ください。

【問い合わせ】  
▼ 古川年金事務所  
☎ 0229(23)1200  
▼ 市民生活部国保年金課(年金医療係)  
☎ 0220(58)2166

年4月に保健所の組織再編をします。

再編後も、公衆衛生活動の中核的な機関として、引き続き登米市と連携し地域を支えてまいります。

【名称変更】「登米保健所」から「石巻保健所登米支所」に変わります

【支所の対応業務】感染症、結核、指定難病、精神保健、母子保健、食品衛生、理容・美容・クリーニング、動物愛護などの住民サービスの密接に関わる業務は、これまでどおり支所が担当します

【本所に移る業務】医療機関、介護保険施設、障害者福祉施設、特定給食施設の指導・助言に関する事など特定の事業に関する業務は、本所(石巻保健所)に移ります

【問い合わせ】県保健福祉部保健福祉総務課(管理班)  
☎ 022(211)2514

### 期限内の申告・納税を お願いします

【確定申告期限・納期限】  
① 申告所得税および復興特別所得税 贈与税 3月15日  
(火) ② 消費税および地方消費税 3月31日(木)  
【振替日】① 申告所得税および

復興特別所得税 4月21日(木) ② 消費税および地方消費税 4月26日(火)

※振替納税は、預貯金残高を確認しておくだけで、金融機関の預貯金口座から自動的に納税ができる便利な制度です。一度手続きをすれば継続して利用できますので、詳しくは税務署の管理運営担当者に相談ください

【問い合わせ】佐沼税務署総務課  
☎ 0220(22)2501

### 柳津駅での乗車券類の 販売を終了します

現在、JR柳津駅では、乗車券と定期券を販売しています。3月31日(木)で販売を終了します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、4月1日(金)以降の運賃の支払いについては、これまでどおり車内の運賃箱を利用ください。定期券は、陸前豊里駅、小牛田駅、石巻駅、気仙沼駅などで購入することができます。

【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域づくり推進係)  
☎ 0220(22)2173

**株式会社 清建**  
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

**有限会社 清建物流**  
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535

**環境プロバイダ**  
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122

**有限会社 リースキン宮城**  
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495

**厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所**  
**有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所**  
**すずらん保育園**  
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728

一日一組限定の特別な空間

**セレモニーホール 萩**

**市民葬祭 誠香社**

24時間受付  
**0220-34-4856(代表)**

### 3月の納税

後期高齢者保険料・・9期

忘れずに納めましょう  
納税は便利な口座振替で

納期限 / 3月31日(木)

### 登米市の人口・世帯数

(令和4年1月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,596	9,582	10,099	19,681 (▲26)
登米	1,752	2,193	2,338	4,531 (▲5)
東和	2,257	2,851	2,937	5,788 (▲16)
中田	5,262	7,545	7,799	15,344 (▲6)
豊里	2,132	3,092	3,168	6,260 (▲19)
米山	2,842	4,290	4,352	8,642 (▲11)
石越	1,537	2,265	2,258	4,523 (6)
南方	2,716	4,034	4,204	8,238 (▲12)
津山	1,121	1,441	1,578	3,019 (▲5)
合計	27,215	37,293	38,733	76,026 (▲94)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

### 市内の交通事故発生状況

(令和4年1月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R4	R3	増減数
人身事故発生件数	8件	9件	▲1件
死者数	0人	0人	0人
負傷者数	9人	10人	▲1人
物損事故発生件数	130件	205件	75件

(前年同時期と比較)

### 警察署からのお知らせ

●冬道の交通事故防止  
《冬道の安全運転1・2・3運動》  
1割のスピードダウン 2倍の車間距離 3分早めの出発

### 1月の災害件数

	火災	救急	救助
令和4年累計	2件 (2件)	316件 (316件)	5件 (5件)
前年同月	3件	317件	7件

※3月は空気が乾燥し、風の強い日も多くなります。火災が発生しやすい時期ですので、家庭や地域ぐるみで火災予防に努めましょう。

ハローワークはさま発行求人情報  
ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載  
掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

### 終活のあり方を学ぶ 相談セミナー開催

終活の進め方について、専門家と相談(無料) / 要予約

☎ 0220(22)6118

### 終活のあり方を学ぶ 相談セミナー開催

☎ 0220(200)6315  
info@miyagi-sankou.org

る問題行動への対応について学び合う教室です。  
【対象者】飲酒・ギャンブル・薬物などの問題で悩んでいる人の家族  
【日時】3月2日(水)午後1時30分～3時  
【場所】登米保健所  
【相談料】無料  
※事前に予約が必要です  
【申し込み・問い合わせ】県東部保健福祉事務所登米地域事務所(母子・障害班)  
☎ 0220(22)6118

書類審査後、順次支給します  
【問い合わせ】  
▼市臨時特別給付金専用電話 ☎ 0120(100)430  
▼福祉事務所生活福祉課(福祉総務係) ☎ 0220(58)5552  
●臨時特別給付金支給を装った詐欺などの相談・連絡先  
市職員などが、ATM(銀行、コンビニ)などの現金自動預払機(の操作や、手数料などの振り込みを求めるとは、絶対にありません)にご注意ください。不審な電話があった場合は、すぐに警察署などへ連絡してください  
▼佐沼警察署 ☎ 0220(22)2121  
▼登米警察署 ☎ 0220(52)2121  
▼警察相談電話 ☎ 9110

市では、高齢者の肺炎球菌感染症予防接種費用の一部を助成しており、対象者には令和3年4月に予診票(紫色の用紙)を配布しています。  
予診票の有効期限は3月31日(木)までです。予防接種を希望する人は、忘れずに受け

【申込期限】3月4日(金)  
【申込方法】参加者氏名と「3 / 5 終活相談セミナー参加」と入力してメールで申し込みください  
【日時】3月5日(土)午後2時～3時  
【申込方法】参加者氏名と「3 / 5 終活相談セミナー参加」と入力してメールで申し込みください  
【日時】3月5日(土)午後2時～3時  
【申込方法】参加者氏名と「3 / 5 終活相談セミナー参加」と入力してメールで申し込みください

### 高齢者肺炎球菌感染症 予防接種を忘れずに

市では、高齢者の肺炎球菌感染症予防接種費用の一部を助成しており、対象者には令和3年4月に予診票(紫色の用紙)を配布しています。  
予診票の有効期限は3月31日(木)までです。予防接種を希望する人は、忘れずに受け

【助成内容】▼市内協力医療機関で接種する場合 / 自己負担額 3783円 ▼協力医療機関以外の医療機関で接種する場合 / 5千円を上限に助成  
※協力医療機関以外の医療機関で予防接種を受ける際は、接種を受ける前に必ず健康推進課へ確認の連絡を入れてください  
【問い合わせ】市民生活健康推進課(保健推進係)  
☎ 0220(58)2116

### 緊急告知ラジオを 貸与しています

緊急告知ラジオは、市内に住所を有する世帯や法人登録のある事業所に1台ずつ無償で貸与しています。災害情報などをコミュニケーションエフエムの電波を活用し、放送の際はラジオを自動で起動して情報を伝達するものです。  
まだ持っていない世帯や事業所の皆さんは、各総合支所市民課と総務部防災危機対策室で貸与していますので、ぜひ活用ください。  
【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)  
☎ 0220(23)7393

### 緊急告知ラジオを 貸与しています

【問い合わせ】市民生活健康推進課(保健推進係)  
☎ 0220(58)2116

### 緊急告知ラジオを 貸与しています

【問い合わせ】市民生活健康推進課(保健推進係)  
☎ 0220(58)2116

### 緊急告知ラジオを 貸与しています

【問い合わせ】市民生活健康推進課(保健推進係)  
☎ 0220(58)2116



# ときめき人

Tokimeki bito



## 地域に開かれた 学習サポート団体を 立ち上げ

中田町・蓬田

### 熊谷 秀さん

くまがい しゅう  
1978年生まれ 血液型/A型

#### Profile

佐沼高を経て大学を卒業したのち、人材派遣会社で10年間勤務。その後、家庭教師や塾講師の管理者として教育関係の仕事に携わる。2020年に「佐沼塾」を開塾して独立。趣味は漫画とクレーンゲーム。



ございんHP

2021年7月に開設されたNPO法人「ございん」は、不登校生への学習サポートや小学生の放課後学習サポート、プログラミング教室を通して、子どもたちを支援する団体。「家庭の収入に関係なく、子どもをサポートする場を作りたい」と、代表の熊谷さんは立ち上げへの思いを口にした。

活動を通して熊谷さんが理想とするのは「将来、子どもたちが社会で自立できるようになること」。塾業界で働く前に勤めていた会社では、派遣社員の管理を担当した。当時担当した派遣社員の中には、借りたお金は返さない、約束通り出勤しない、といった社会人として当たり前と思えることができない人たちがおり、日々の対応に苦慮した。「社会へ出る前に、人との関わり方を教えるのも教育

の大切な役割。不登校になることでそういった場が失われてしまうことが心配だった」と学校に行けない子どもたちへの思いを話す。近年、子どもたちが不登校になる理由は多種多様だ。いじめに限らず、集団行動が苦手、なんとなく行きたくないといった理由から学校へ行かなくなる子どもも多々いる。熊谷さんは「勉強を教わるだけでなく人との関わりを持つことで、そういった面での助けにもなればうれしい」と笑みを浮かべた。

法人名に選んだ「ございん」は「どうぞおいでください」の意味を持つ方言。さまざまな悩みを抱える子どもを受け入れる場だからこそ、あえて柔らかい表現を選んだ。熊谷さんは、子どもたちそれぞれの思いに向き合い、一人一人に寄り添い続ける。

## 編集後記

▼いち早く早く現場に駆け付け私たちの安全を守る消防団。地域を守る消防団は、団員だけではなく協力事業所の力添えにより活動しています。従業員が現場に向かうのを見送り、資器材の不足があれば提供。団員皆さんと協力事業者へ感謝し、火災予防に取り組みたいと思います。(佐々木)

▼二年ぶりに開催された成人式では、コロナ禍になつてからは撮ることが少なくなつていた多くの笑顔をカメラに収めることができました。成年の年齢は引き下げられますが、市の成人式は、来年以降も20歳を対象に開催されます。今後も変わらぬ笑顔あふれる式を楽しみにしています。(三浦)

▼情報広場に掲載する予定のイベントや取材依頼を受けた事業が、中止になることが増えています。例年あった行事や予定していた表彰式などが開けず、関係者や入賞者などの思いや背景を知ります。常識打破から価値発見力が形成されている様子です。(高橋)



#### 登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



#### 登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

